



**2021年3月期
決算説明資料**

2021年4月30日
SGホールディングス株式会社

1.	2021年3月期 決算概要	1～ 9
2.	2022年3月期 見通し	10～16
3.	中期経営計画の進捗について	17～27
4.	参考資料	28～34

2021年3月期のハイライト

eコマース市場拡大により増加した取扱個数に対し、Xフロンティアに新設した中継センターの本稼働を早めることで、安定した品質で対応した。ロジスティクス事業では海外のフレイトフォワーディングにおいて、コロナ禍での混乱の中で存在感を発揮し、多くの新規案件を受託した。これらを主要因として、業績は堅調に推移した。

- (業界関連)
 - ・ eコマース市場は新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響により急成長し、BtoCの荷物が大幅に増加
 - ・ 感染症拡大により、非接触配達や非対面での配達等、荷物の受け渡し方法が多様化
 - ・ 航空貨物のスペース不足に加え、世界的なコンテナ不足により、航空・海上貨物の需給がひっ迫
- (2021年3月期の概況)
 - ・ 感染症が拡大する中、セールスマックスの変化が継続
 - BtoBは回復傾向にあるものの減少、BtoCはeコマース市場の拡大を受け増加
 - BtoC荷物の増加が継続したことで、平均単価は前年同期比微増
 - ・ Xフロンティアの中継センターが本稼働したことで、キャパシティが増加
 - ・ ロジスティクス事業は、海外での個人用防護具の緊急輸送(上期)と既存顧客の物量回復や需給ひっ迫の中、海上及び航空スペースを確保(下期)

連結業績サマリー

(億円)	2020年3月期	2021年3月期	前期比
営業収益	11,734	13,120	111.8%
営業利益 (営業利益率)	754 (6.4%)	1,017 (7.8%)	134.8%
経常利益	805	1,036	128.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	472	743	157.2%
EBITDA	988	1,281	129.6%

注記 億円未満切り捨て

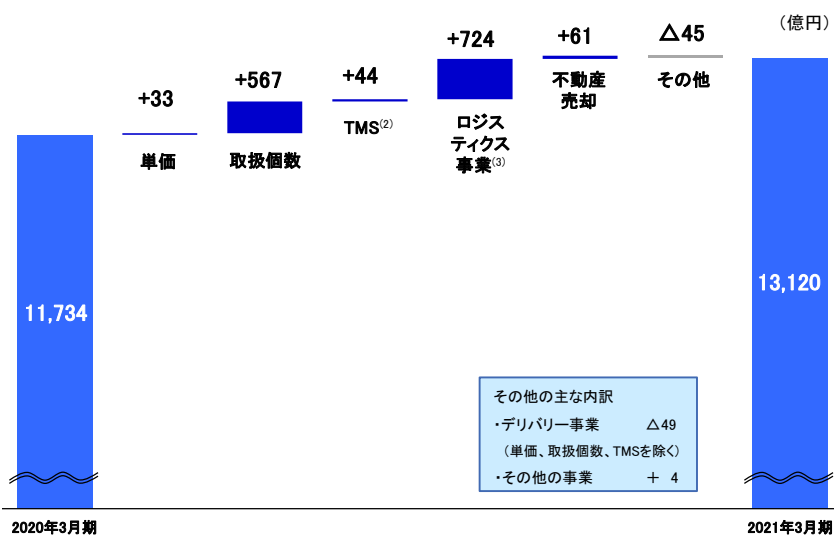
Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

■ 当社グループの業績（前期との比較）

- 営業収益： + 1,385億円
- 営業利益： + 262億円
- 経常利益： + 231億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： + 270億円
- EBITDA： + 292億円

営業収益の増減分析



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (3) TMSを除く

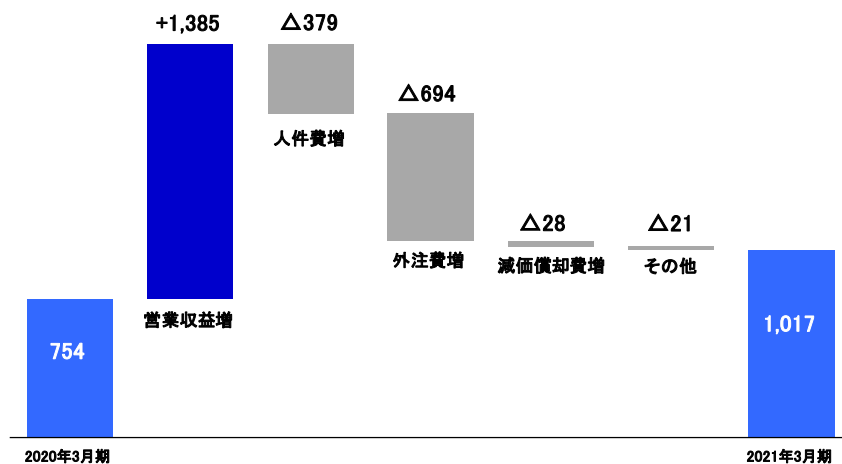
■ 実績

- 平均単価 : 644円 (前期比 100.4%)
- 取扱個数 : 1,403百万個 (前期比 106.7%)
- TMS : 932億円 (前期比 105.0%)

(参考) 稼働日前年増減 : 平日+5、土曜日Δ1、日曜祝日Δ5

営業利益の増減分析

(億円)



注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

■ 実績

- 営業収益 : 13,120億円 (前期比 111.8%)
- 人件費 : 4,433億円 (前期比 109.4%)
 - 取扱個数の増加、及びコロナ見舞金等の一時費用の増加
- 外注費 : 5,788億円 (前期比 113.6%)
 - ロジスティクス事業の外注費増加 (前期比 177.0%)
- 減価償却費 : 260億円 (前期比 112.3%)
 - Xフロンティア減価償却費の増加

セグメント別業績

(億円)	2020年3月期	2021年3月期	前期比
営業収益 合計	11,734	13,120	111.8%
デリバリー事業	9,554	10,149	106.2%
ロジスティクス事業	1,358	2,078	153.0%
不動産事業	162	228	140.7%
その他の事業	660	664	100.7%
営業利益 合計	754	1,017	134.8%
デリバリー事業	598	714	119.5%
ロジスティクス事業	20	127	617.8%
不動産事業	78	113	143.3%
その他の事業	43	42	97.9%
調整額	13	19	144.7%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

《増収増益》

デリバリー事業、ロジスティクス事業、不動産事業

《増収減益》

その他の事業

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

2021年3月期より、「デリバリー事業」及び「その他の事業」セグメントの配分方法を変更いたしました。変更は、事業実態やマネジメント方法に基づいたものです。

上記変更に伴い、前期の実績について以下のとおり変更いたしました。

	2020年3月期 営業利益(億円)			2020年3月期末時点従業員数 (うち、パートナー社員)		
	調整前	調整後	増減	調整前	調整後	増減
デリバリー事業	587	598	+11	58,732 (18,145)	78,017 (36,208)	19,285 (18,063)
その他の事業	54	43	△11	22,762 (19,551)	3,477 (1,488)	△19,285 (△18,063)

セグメント別業績概要

デリバリー事業

- 取扱個数は、BtoBが回復基調にあるものの減少したが、BtoCの増加が上回る
- 平均単価は適正運賃收受の取組みを継続するも、相対的に小型なBtoCの荷物が増加したことにより微増にとどまる
- Xフロンティアの中継センターの本稼働を早めたことで、増加した荷物に安定した品質でサービスを提供できたことに加え、待機時間の削減等、輸送ネットワーク全体の生産性向上に寄与
- 感染症対策として、テレワークの推進やオンライン営業等の取組みを継続的に実施

ロジスティクス事業

- 上期は、個人用防護具の緊急国際輸送が増加
- 下期は、既存顧客の物量回復に加え、海上コンテナ不足の影響で航空・海上共に需給がひっ迫したが、コンテナスペースが確保できたことにより、フォワーディング全般の収益性が向上

不動産事業

- 計画的に保有不動産を売却(私募REITへの組入れ)

その他の事業

- 代引決済が増加するも、自動車販売が減少

連結キャッシュ・フロー計算書

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2020年3月期末	2021年3月期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	535	1,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 615	5
フリーキャッシュ・フロー	△ 79	1,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 243	△ 1,219
現金及び現金同等物の増減額	△ 329	4
現金及び現金同等物の期末残高	687	691

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

■ 連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 1,212億円
 主な内容： 税金等調整前当期純利益 1,117億円
 減価償却費 258億円
 賞与引当金の増減額 (△は減少) 39億円
 投資有価証券売却損益 (△は益) △113億円
 売上債権の増減額 (△は増加) △327億円
 たな卸資産の増減額 (△は増加) 79億円
 仕入債務の増減額 (△は減少) 173億円
 法人税等の支払額 △218億円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー 5億円
 主な内容： 有形固定資産の取得による支出 △591億円
 無形固定資産の取得による支出 △57億円
 関係会社株式の売却による収入 697億円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー △1,219億円
 主な内容： 長期借入れによる収入 200億円
 長期借入れの返済による支出 △221億円
 配当金の支払額 △213億円
 子会社株式の取得による支出 △883億円

連結貸借対照表

(億円)	2020年3月期末	2021年3月期末	(億円)	2020年3月期末	2021年3月期末
流動資産	2,708	3,036	負債	3,496	3,854
現金及び預金	687	691	買掛債務	627	797
営業債権及び その他の債権	1,559	1,878	有利子負債	1,317	1,237
棚卸資産	288	307	その他	1,551	1,818
その他流動資産	174	158			
固定資産	5,018	4,866	純資産	4,230	4,048
有形固定資産	3,216	3,528	親会社株主帰属分	3,839	3,983
のれん	40	40	非支配株主持分	391	65
その他固定資産	1,761	1,297			
資産合計	7,727	7,902	負債純資産合計	7,727	7,902

注記 億円未満切り捨て

■ 自己資本比率

- 自己資本比率 : 50.4% (前期末比+0.7ポイント)

1.	2021年3月期 決算概要	1～9
2.	2022年3月期 見通し	10～16
3.	中期経営計画の進捗について	17～27
4.	参考資料	28～34

2019年度～2021年度
中期経営計画
Second Stage 2021

<経営戦略>

- ① 物流ソリューションの進化
- ② 経営資源の価値最大化
- ③ デジタル化の推進と最新技術の導入
- ④ グローバル事業の拡大
- ⑤ 組織・人材の高度化
- ⑥ ガバナンス強化

2022年3月期の取組み

デリバリー事業

- GOAL[®]を中心としたTMS等のソリューション強化
- 適正運賃取受の取組みの継続
- Xフロンティアによるキャパシティ増加と輸送ネットワーク強化
- デジタル化による生産性向上と働き方改革の推進

ロジスティクス事業

- 海外3PLを含むサプライチェーン全体の機能強化・拡大
- グローバルフレイトフォワーディングのネットワーク拡大
- ジャパンレーンを中心とした越境EC等サービスの拡大

不動産事業

- 物流機能を強化する施設開発の推進
- 保有不動産の継続的な売却

その他の事業

- 物流附帯業務としてサービス品質の維持・向上
- 物流と連携した新たな機能・サービスの開発

注記 「GOAL[®]」はSGホールディングス株の登録商標

連結業績予想及び配当予想について

(億円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 業績予想	前期比	2022年3月期 中計目標	中計比
営業収益	13,120	13,250	101.0%	12,300	107.7%
営業利益 (営業利益率)	1,017 (7.8%)	1,070 (8.1%)	105.2%	800 (6.5%)	133.8%
経常利益	1,036	1,085	104.7%	845	128.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	743	740	99.5%	490	151.0%
EBITDA	1,281	1,370	106.9%	1,090	125.7%
一株当たり 配当金 ⁽³⁾	第2四半期末	18円	18円	-	
	期末	17円	18円		
	合計	35円	36円		

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2022年3月期業績予想の前提: デリバリー事業平均単価647円、取扱個数14,033億個 (3) 当社は、2020年11月1日付で、普通株式1株につき2株で株式分割を行いました。2021年3月期の1株当たり配当金は期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の金額を記載しています。

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

■ 2022年3月期の業績予想（前期との比較）

2021年3月期の業績と足元の状況を踏まえ、2022年3月期業績予想を策定

- 営業収益： + 129億円
- 営業利益： + 52億円
- 経常利益： + 48億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： △ 3億円
- EBITDA： + 88億円

- 想定平均単価 647円 + 3円
- 想定取扱個数 1,403百万個 ± 0百万個

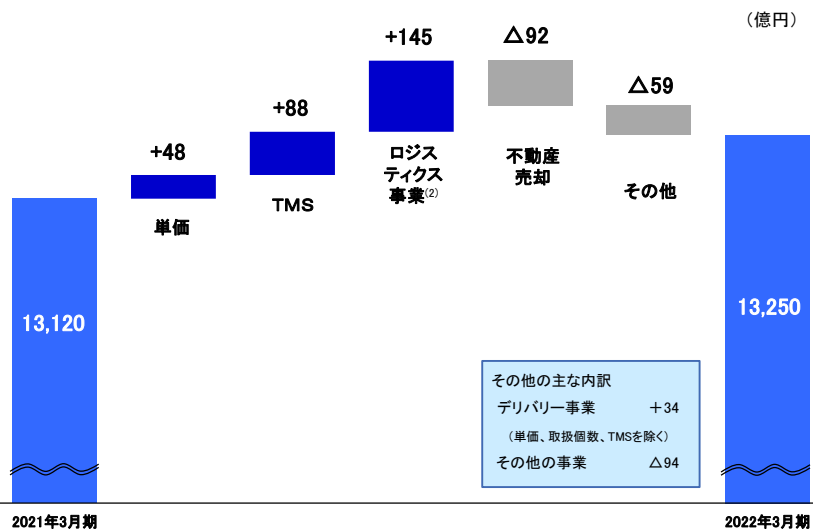
■ 配当予想

- 2020年11月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施。
上記2021年3月期の一株当たり配当金は期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の金額を記載
- 2021年3月期第2四半期末配当18円の内訳は、普通配当13円と特別配当5円

【参考】営業費用の前期増減内訳

- 人件費 △158億円
- 外注費 +271億円
- 減価償却費 + 39億円
- その他 △ 76億円

営業収益予想の増減分析



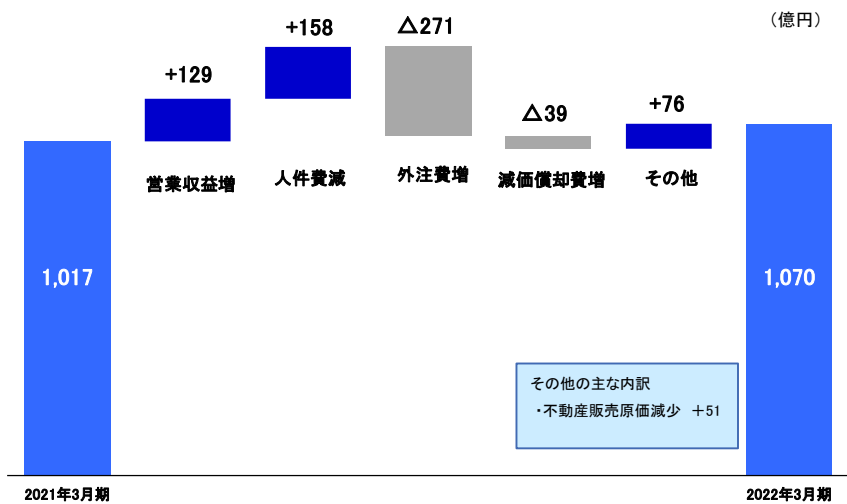
注記 (1)億円未満切り捨て (2) TMSを除く

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

■ 2022年3月期業績予想

- 平均単価 : 647円 (前期比 100.5%)
- 取扱個数 : 1,403百万個 (前期比 100.0%)
- TMS : 1,020億円 (前期比 109.5%)

営業利益予想の増減分析



注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

■ 2022年3月期業績予想

- 営業収益 : 13,250億円 (前期比 101.0%)
- 人件費 : 4,275億円 (前期比 96.4%)
- 外注費 : 6,060億円 (前期比 104.7%)
- 減価償却費 : 300億円 (前期比 115.2%)

連結業績予想(第2四半期累計)

(億円)	2021年3月期 第2四半期累計 実績	2022年3月期 第2四半期累計 業績予想	前年同期比
営業収益	6,348	6,600	104.0%
営業利益 (営業利益率)	524 (8.3%)	460 (7.0%)	87.6%
経常利益	527	465	88.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	372	320	85.8%

注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

■ 2022年3月期第2四半期累計の業績予想 (前年同期との比較)

- 営業収益 : + 251億円
- 営業利益 : △ 64億円
 - 2022年3月期は、不動産売却を下期に予定
- 経常利益 : △ 62億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : △ 52億円

セグメント別業績予想

(億円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 業績予想	前期比	2022年3月期 中計	中計比
営業収益 合計	13,120	13,250	101.0%	12,300	107.7%
デリバリー事業	10,149	10,310	101.6%	9,889	104.3%
ロジスティクス事業	2,078	2,235	107.6%	1,600	139.7%
不動産事業	228	135	59.1%	144	93.8%
その他の事業	664	570	85.7%	667	85.5%
営業利益 合計	1,017	1,070	105.2%	800	133.8%
デリバリー事業	714	835	116.8%	628	133.0%
ロジスティクス事業	127	105	82.4%	47	223.4%
不動産事業	113	70	61.9%	61	114.8%
その他の事業	42	40	95.0%	48	83.3%
調整額	19	20	102.1%	16	125.0%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更。中計目標は、セグメント変更前の数値

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

■ セグメント別前期比較

・ 営業収益	+129億円
デリバリー事業	+160億円
ロジスティクス事業	+156億円
不動産事業	△ 93億円
その他の事業	△ 94億円

・ 営業利益	+ 52億円
デリバリー事業	+120億円
ロジスティクス事業	△ 22億円
不動産事業	△ 43億円
その他の事業	△ 2億円
調整額	+ 0億円

・ デリバリー事業 業績予想の前提

取扱個数、セールスマックスは前期とほぼ同値にて算出
平均単価は、適正運賃收受の取組により+3円

・ ロジスティクス事業 業績予想の前提

コンテナ不足に伴う海上運賃の急騰、及び海上輸送から航空輸送へのシフトの影響による航空運賃の上昇は上期中は継続すると想定

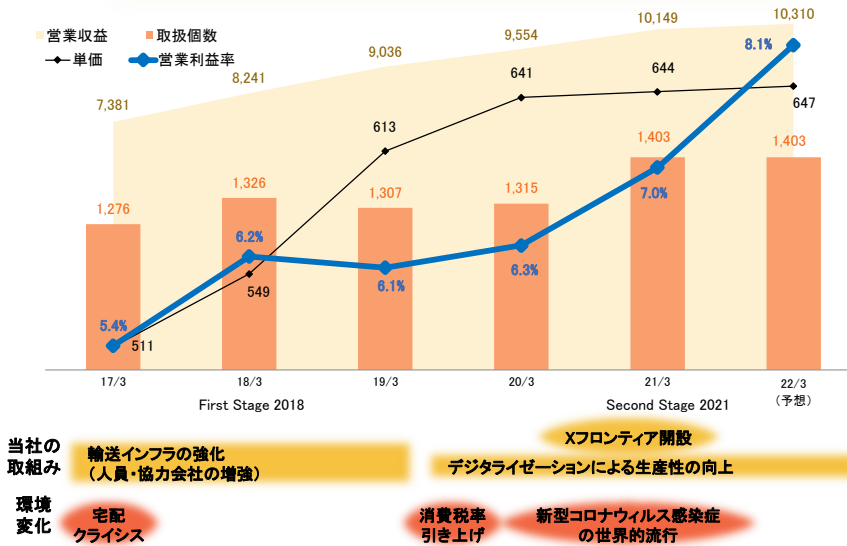
1.	2021年3月期 決算概要	1～ 9
2.	2022年3月期 見通し	10～16
3.	中期経営計画の進捗について	17～27
4.	参考資料	28～34



- 2022年3月期は「Second Stage 2021」の最終年度

デリバリー事業の推移

環境変化に対応し、安定的な営業利益率向上を実現



Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

■ 主要事業のデリバリー事業では環境の変化に柔軟に対応

- キャパシティを考慮し取扱個数をコントロール
- 適正運賃収受の取り組みを継続
- Xフロンティアに代表される輸送ネットワークの強化
- デジタイゼーション等による働き方改革と生産性向上

↓

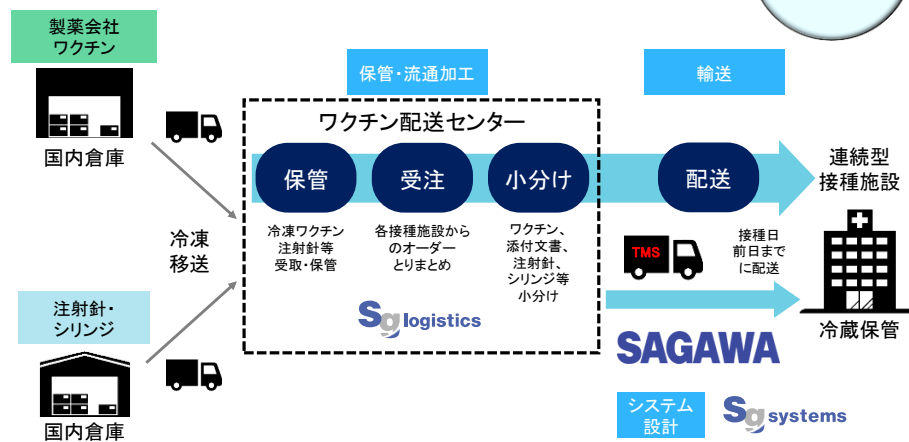
上記4点のバランスを取りながら環境の変化に柔軟に対応したことが、
安定的な営業利益率の上昇につながった

物流ソリューションの進化 GOAL[®]の取組み①

【事例】新型コロナウイルスワクチン輸送×TMS

- 各自治体に移送されたワクチンや注射器等の保管・流通加工や接種施設への配送を受託

受託件数
200件超
(4/30時点)



Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

20

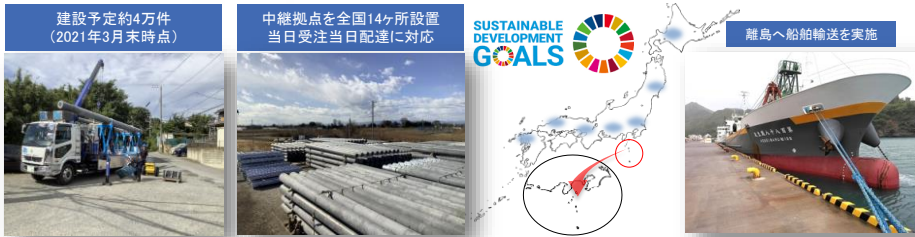
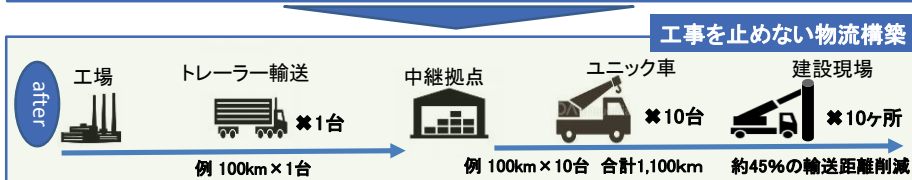
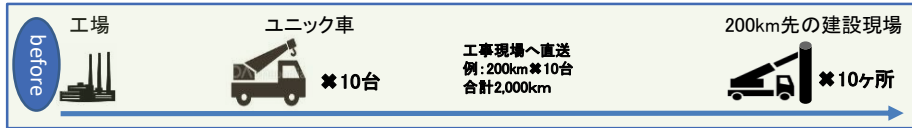
■ GOAL[®]の取組み①

新型コロナウイルスワクチンの輸送

- ワクチンの自治体から接種場所までの輸送に関し、全国の自治体より1,000件以上の商談を実施
- SGホールディングスグループが全国に展開している施設を活用し、保管(温度管理)、小分け作業、接種場所への配送を一括して受託
- 4月30日現在、200件超の受託実績
- 今後さらに高まる自治体からのニーズに対応するために、業務の標準化とシステム化を推し進め、迅速に対応できる体制を構築する

物流ソリューションの進化 GOAL_®の取組み②

【事例】アンテナ設置×全国輸送×TMS 5G通信インフラ工事への供給



Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

■ GOAL_®の取組み②

アンテナの設置輸送(TMSによる特殊輸送事例)

- TMSにより効率的にアンテナを全国に設置
- 1. 全国に展開するTMSのネットワークを駆使し、立地に応じた車両を手配
- 2. 中継拠点を設け、工場から中継拠点への物流と中継拠点から設置場所への物流を切り分ける
- 3. 緊急輸送への対応
- 4. 離島への設置輸送は、船舶の利用運送を実施



効果
1日の処理個数実績
想定値の
135%以上
を達成

**【スケジュール】**

2020年1月末

施設竣工、5,6F倉庫部分稼働

2020.10月～

1～2F中継センター稼働開始

2021.1月～

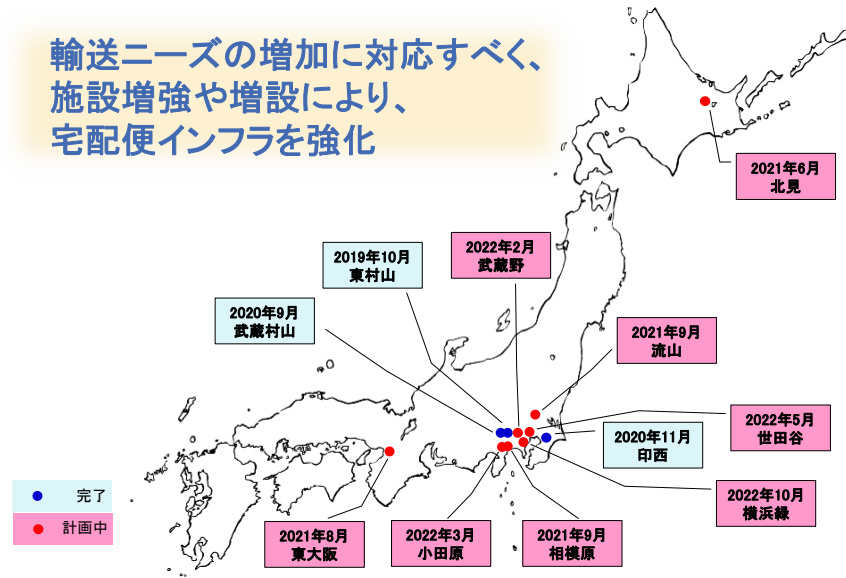
3～4F中継センター稼働開始

⇒2021.3月
フル稼働

■ Xフロンティア

- 2021年3月期に本格稼働を開始し、想定値比135%と想定以上のパフォーマンスを発揮。EC市場の拡大の影響により増加した取扱個数に対して、安定したサービスを提供
- 引き続き拡大する宅配ニーズに対応していくとともに、Xフロンティアの効果を踏まえ、中長期的なネットワーク戦略を検討

輸送ニーズの増加に対応すべく、
施設増強や増設により、
宅配便インフラを強化



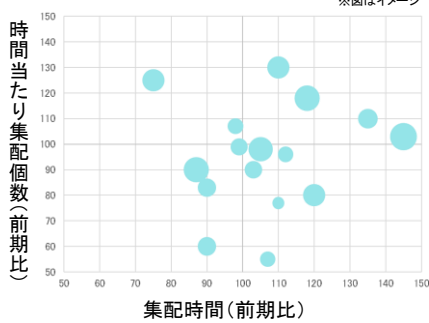
■ 宅配便インフラの整備

- 輸送ニーズの増加に対応すべく、既存施設の増強や、新規施設の開発を実施
- Xフロンティアによる中継機能の強化に加え、日本各地における戦略的な営業所の整備により、集配機能を強化

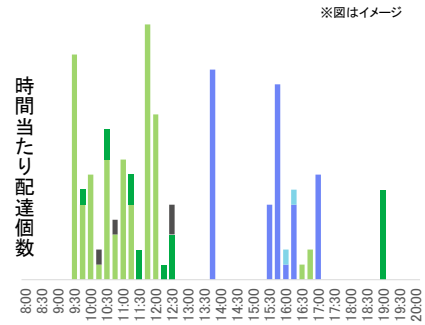
デジタル化の推進① これまでの取組み

デジタルライゼーションによるドライバーの生産性向上

■業務の最適化ツール(イメージ)



・営業所内の各班の生産性の改善度合いを可視化



・ドライバー一人ひとりの配達状況を、15分単位で可視化

業務の平準化

生産性向上

収益性改善

■ デジタルライゼーションによるドライバーの生産性向上

- ・ 各ドライバーの時間帯別生産性など、詳細なモニタリングを実施
- ・ 情報の「見える化」により、適切な人員・車両配置、生産性向上、業務平準化を実現
- ・ また、ドライバーの集配実績を分析し、コースの見直しを行うことで、就労環境の改善につなげている

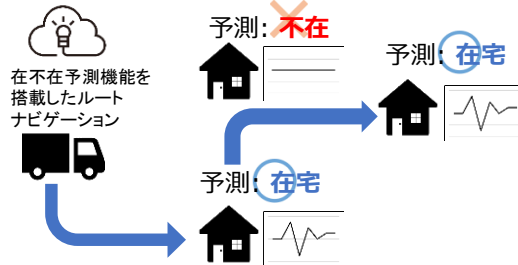
デジタル化の推進② 今後の取組み

ラストワンマイルの効率化と不在再配達率の低減に向けて

■ 集配順序並べ替えの自動化



■ 電力データを活用した不在予測



労働時間 ↓

走行距離(CO₂) ↓

不在率 ↓

STEP1

集配先住所の
地図表示

9/1全国展開

STEP2

集配順序並べ替えの自動化
(ルート最適化・住所手入力あり)

実証実験

STEP3

集配順序並べ替えの自動化
(ルート最適化・住所手入力なし)

伝票デジタル化

STEP4

集配順序並べ替えの自動化
(不在予測)

電力メーターの開放

■ ラストワンマイルの効率化と不在再配達率の低減に向けて

- 伝票のデジタル化や外部データの活用により、労働負荷の軽減や業務の平準化、環境負荷の低減を実現

① 集配順序並べ替えの自動化

- 集配先情報に加え、各エリアの道路事情等を踏まえ集配ルートを自動作成
- ドライバーの習熟度によらず、効率的な順序での集配が可能になり、労働時間や走行距離の削減を実現

② 電力データによる不在予測の活用の検討

- 各家庭への電力メーターの普及を見据え、実証実験等を実施
- 様々な手段で業務効率の更なる改善の可能性を模索



■ グローバル戦略

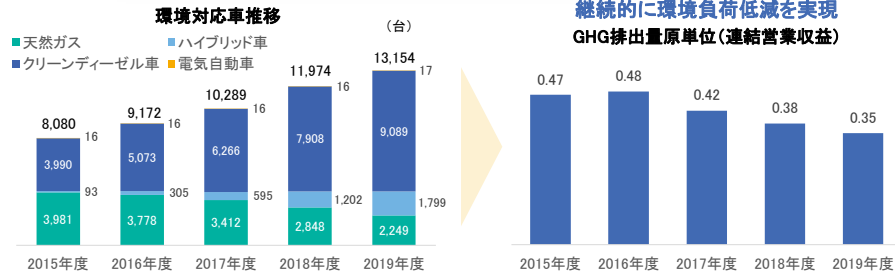
①越境EC :

- 日本発着の国際物流強化に向けて、中国・ASEAN市場への展開とアライアンスの拡大に取り組む

②EXPOLANKA :

- オーガニック成長と戦略的なアライアンスの拡大により、各国における競争力の強化と顧客基盤の拡大に取り組む

サプライチェーン全体のCO₂削減に向けて



**CO₂排出10%削減へ
2030年までに
軽車両約7,000台を
電気自動車に**



注記 GHG排出量原単位: Scope1+2(t-CO₂)/連結営業収益(百万円)

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

27

■ 持続可能な社会の実現に向けて

- ・ 当社グループは、過去からサプライチェーン全体のCO₂削減に取り組んでおり、継続的に環境負荷を低減
- ・ 特にグループの中核企業である佐川急便では、業界に先駆けて環境対応車を積極的に導入
- ・ 今後の更なる環境負荷低減に向けた取り組みの一つとして、2030年までに保有する全ての軽車両約7,000台を電気自動車に切り替える目標を掲げている

1.	2021年3月期 決算概要	1～ 9
2.	2022年3月期 見通し	10～16
3.	中期経営計画の進捗について	17～27
4.	参考資料	28～34

連結業績サマリー(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前期比
営業収益	3,176	109.1%	3,172	106.9%	3,471	112.8%	3,300	118.8%	13,120	111.8%
営業利益 (営業利益率)	277 (8.7%)	147.7%	247 (7.8%)	134.4%	360 (10.4%)	134.5%	131 (4.0%)	115.1%	1,017 (7.8%)	134.8%
経常利益	288	149.7%	239	121.9%	372	129.7%	136	105.8%	1,036	128.7%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	172	170.3%	200	169.6%	258	161.2%	111	120.3%	743	157.2%
EBITDA	340	138.4%	312	129.8%	425	130.5%	203	115.4%	1,281	129.6%

注記 億円未満切り捨て

セグメント別業績(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前期比
営業収益 合計	3,176	109.1%	3,172	106.9%	3,471	112.8%	3,300	118.8%	13,120	111.8%
デリバリー事業	2,432	104.4%	2,492	103.5%	2,742	108.0%	2,481	109.1%	10,149	106.2%
ロジスティクス事業	407	129.0%	492	139.2%	548	155.1%	629	188.0%	2,078	153.0%
不動産事業	172	159.4%	18	104.3%	19	104.9%	17	100.3%	228	140.7%
その他の事業	163	105.0%	168	90.6%	161	97.1%	171	112.7%	664	100.7%
営業利益 合計	277	147.7%	247	134.4%	360	134.5%	131	115.1%	1,017	134.8%
デリバリー事業	156	126.8%	180	120.8%	295	124.8%	82	93.0%	714	119.5%
ロジスティクス事業	20	399.3%	42	555.5%	37	475.8%	26	-	127	617.8%
不動産事業	84	180.8%	11	120.4%	11	93.4%	6	58.1%	113	143.3%
その他の事業	9	92.4%	9	68.8%	9	137.8%	13	114.5%	42	97.9%
調整額	6	257.7%	3	92.2%	6	171.0%	2	81.8%	19	144.7%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較

商品・サービスの状況

デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万円、円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年比
取扱個数合計	342	104.7%	344	104.4%	376	108.8%	340	109.0%	1,403	106.7%
飛脚宅配便 ⁽¹⁾	329	105.5%	329	104.8%	361	109.2%	326	109.2%	1,347	107.2%
その他 ⁽²⁾	12	89.0%	14	95.2%	14	100.2%	13	104.8%	55	97.1%
平均単価	634	100.6%	643	100.1%	650	100.2%	646	100.5%	644	100.4%

e-コレクト⁽³⁾ 個数・決済金額の状況

(百万円、億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年比
個数	22	101.6%	22	101.5%	23	103.9%	19	99.7%	87	101.7%
決済金額	2,467	101.7%	2,538	99.3%	2,733	107.2%	2,251	102.0%	9,991	102.6%

TMSの状況

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年比
売上高	212	102.2%	234	102.1%	247	105.1%	238	110.8%	932	105.0%

地域ごとの情報

(億円)	21年3月期	
	21年3月期	前年比
営業収益	13,120	111.8%
日本	11,645	106.5%
海外	1,475	184.5%

注記 (1) 飛脚宅配便は、佐川急便㈱が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (2) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便及びその他の会社の取扱個数 (3) 「e-コレクト」はSGホールディングス㈱の登録商標

営業費用の内訳

連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
営業費用 合計	2,899	106.5%	2,924	105.1%	3,111	110.7%	3,168	118.9%	12,103	110.2%
人件費	1,096	109.3%	1,094	106.5%	1,104	109.6%	1,138	112.1%	4,433	109.4%
外注費	1,300	104.6%	1,379	106.5%	1,555	114.9%	1,552	129.2%	5,788	113.6%
燃料費	20	74.9%	25	86.6%	24	85.5%	23	97.6%	93	85.8%
減価償却費	62	111.3%	64	115.3%	64	110.9%	68	111.8%	260	112.3%
その他経費	419	106.7%	361	96.4%	362	99.8%	384	106.6%	1,527	102.4%

デリバリー事業 主要費用項目⁽²⁾

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
営業費用 合計	2,380	103.5%	2,409	102.4%	2,567	106.9%	2,502	110.0%	9,860	105.7%
人件費	964	110.7%	948	106.1%	963	110.6%	987	111.6%	3,864	109.7%
外注費	1,097	99.0%	1,128	99.8%	1,257	105.3%	1,177	111.0%	4,661	103.7%
燃料費	20	76.3%	25	87.8%	23	87.1%	23	95.7%	92	86.5%
減価償却費	44	117.5%	44	115.3%	44	113.2%	48	112.7%	181	114.6%
その他経費	253	99.3%	262	101.3%	277	103.0%	266	101.4%	1,060	101.3%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較

従業員・車両・拠点の状況

(人、台、店)		2020年3月期末	2021年3月期末
連結従業員数	合計	95,291	97,774
(うちパートナー社員等 ⁽¹⁾)		(43,928)	(45,753)
デリバリー事業 ⁽²⁾		78,017	79,902
		(36,208)	(36,839)
ロジスティクス事業		12,954	13,172
		(5,995)	(6,886)
不動産事業		69	63
		(-)	(-)
その他の事業 ⁽²⁾		3,477	3,888
		(1,488)	(1,801)
全社(共通)		774	749
		(237)	(227)
佐川 急便	車両台数	26,661	26,673
	主な拠点数	857	864
	中継センター	24	23
	営業所	427	428
	小規模店舗 ⁽³⁾	406	413

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較
(3) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

参考:連結フリーキャッシュ・フロー見通し

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 見通し ⁽³⁾
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,212	900
投資活動によるキャッシュ・フロー	5	△ 350
フリーキャッシュ・フロー ⁽²⁾	1,217	550

■ 2021年3月期の主な投資(実績)⁽³⁾

- ・Xフロンティア関連投資 : 340億円
- ・車両投資 : 130億円
- ・IT投資(新規) : 40億円

※2021年3月期の投資CFには、関係会社株式の売却による収入697億円を含む

■ 2022年3月期 主な投資(見通し)⁽³⁾

- ・車両投資 : 150億円
- ・施設投資(新規開発) : 115億円

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー (3) 数値は概算値

ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、eコマース市場の低成長、㈱日立物流との資本業務提携のシナジーの未実現やディスシナジーの発現、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。